

一般質問

佐藤 生稔



災害対策と危機管理

質問

起きてしまったてからの対応よりも、起きる前の対策が重要であるがどうか。

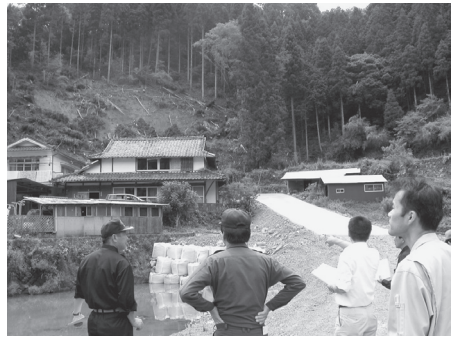
答弁 市長

災害危険箇所は447箇所を確認しています。過疎高齢化の中、災害弱者（高齢者など）の安全確保が責務であります。

災害や事故から住民を守るため、総合的な危機管理体制の充実強化に努め、住民を対象に防災訓練も実施していきたい。

以上を踏まえて、市の地域防災計画を作成中です。

森林と農地の機能保全



地すべり現場（三重町松尾地区）

質問

多面的機能の評価と対策は。

答弁 市長

森林や農地は国土保全・水源涵養・地球温暖化防止などの多面的機能を有し、その維持・増進を図ることは重要だと考えます。そのため、森林環境税を活用して多様な森林づくりを進めます。

また、中山間地域等直接支払制度の新対策に積極的に取り組み、農業と農用地が廃れることの無いよう努めます。

介護保険事業

質問

来年4月1日からスタートする新介護保険制度の実施主体としての市の基本方針は。

答弁 保健福祉部長

要介護状態になっても、できる限り自宅で自立した日常生活を営めるようにするのが介護保険の目的の一つです。新制度の地域支援（介護予防）事業では、地域住民と協力して助け合いや見守りを行い、在宅福祉の充実を図りたい。新制度への準備は、4月1日に間に合うよう努力します。

就学前の適正保育



恵藤 千代子

質問

差異のある公立幼稚園の保育年限をどう考える。

答弁 教育長

一年保育の幼稚園を今後どうするのか、犬飼町のみ実施している3年保育を引き続き実施していくのか検討をはじめます。

私立の幼稚園・保育園などの幼児施設との調整を図りながら、長期計画の中で市民ニーズにあった支援をしていきたい。

子育て支援

質問

第2子3歳未満児の保育料減免、来年度実施は。

答弁 保健福祉部長

第2子3歳未満児のこにこ保育支援事業は、県も推進しているので前向きに検討したいと思います。

質問

平成大橋から国道326号までの道路整備を。

答弁 建設部長

本路線は、急カーブもあり、勾配も急なことから全線改良が必要であります。新市まちづくり計画で道路整備計画を策定し、循環道路の整備を図っていきたい。

答弁 市長

県道百枝・浅瀬・野津線と交差している。地元の理解、協力をいただき、建設委員会を設け整備できる方向で検討していきたいと思っています。



「毎日おいしいよ。」

（犬飼町長谷幼稚園）